



「認定こども園ってことは“保育園”になっちゃうの!？」

認定こども園になっても私たちは“幼稚園”であり続けます。

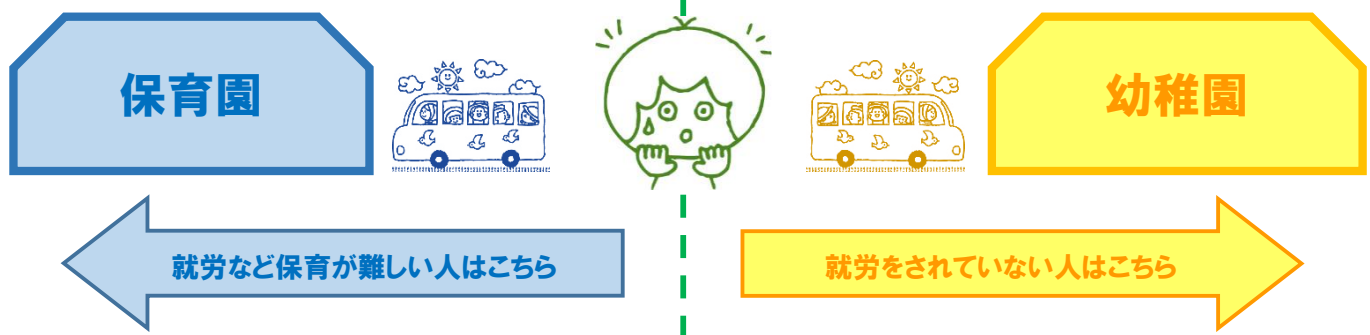
広田幼稚園が大切にしていきたいことは…

新制度で変わることはばかり強調されますが、広田幼稚園は認定こども園に移行した後も**幼児教育を一番**に考えて運営をしていきます。保育機能を取り入れる中では保育所的な考え方を求められる場合もあると思います。必要なこと、良いところは柔軟に受け入れていながらも、**幼児教育の質**を向上させ、**広田幼稚園の文化**は大切にしていきたいと考えています。

広田幼稚園が認定こども園になるワケ

幼児教育を大切に考えているのなら、幼稚園のままでもいいじゃないか。と思う方もいらっしゃいますよね。何故、私たちが認定こども園の移行を決めたのか、お話をさせていただきます。

いま、3歳から5歳の子ども達が入園できる施設は大きく分けて、「**幼稚園**」と「**保育園**」があります。一般的に「**保育園**」は保護者がお仕事をしている子しか入園できず、「**幼稚園**」は保護者がお仕事をしている子には利用しづらく、選択肢は限られておりました。



お子様にとって大切な幼児期に所属する園を、教育内容や園の環境ではなく、保護者の就労等によって仕方なく選ぶという状況があったのであれば、それは変えていかなければいけないと考えました。

同じ地域に住んでいるのに、入園できる施設とできない施設がある。それってなんだか不自由…

少しでも多くの子が幼児教育を受けられるように広田幼稚園は以前から、早朝保育や延長預かり保育、ホームクラスなど、お仕事をしている人でも利用しやすい幼稚園になれるよう改善をしてきました。しかし、その努力は意外と知られていないことが分かりました。

この地域に住んでいる人、みんなのための幼稚園になりたい！

広田幼稚園は、創設から40年以上の歴史の中で幼児教育、特に子どもの生き生きとした遊びを大切にしてきました。その教育理念は現在も息づいており、日々の保育では教師一人一人が子どもの発想やつぶやきを大切に、更に質の高い幼児教育を目指して動き続けております。

保護者様からも、よく「広田幼稚園の子は卒園してからも意欲的な“子どもらしい”子が多い」「広田幼稚園

の先生はいつも元気がいっぱいだ」とお褒めのお言葉を頂いており、私たちはそんなお声がけを頂けるという事を誇りに思っております。これからも幼児教育の質を向上させるとともに、今まで以上に地域に根差した幼稚園を目指し、地域に住む子ども達すべてが平等に幼児教育を受ける権利を享受できるようにしていきたいと考えています。

ですが中には「広田幼稚園に入園したいけど、仕事があるから難しい」「幼稚園に入園したいけど、これから仕事をしたいから入園させることができない」という言葉もお聞きます。

私たちが大切にしている「広田幼稚園の幼児教育」を保護者の就労に左右されることなく、この地域に住む、幼児教育を希望するすべての子にお届けしたい。そんな思いで新制度への移行を決めました。

2016. 2. 25 作成